



興部高校 C・S 通信

令和3年12月8日発行 第8号

第2回学校運営協議会報告

令和3年度第2回学校運営協議会を12月2日に開催しました。協議会では、会長挨拶後、新任委員の辞令交付、学校運営の取組状況中間報告を事務局が行いました。

その後、11月29日に行われました町主催のプリマペンギノ代表取締役、藤岡慎二氏による「高校魅力化プロジェクト」の講演を受け、興部高校の魅力化についてのアンケートを記入後、それをもとに意見交換を行いました。さらに興部高校で育成を目指す11の力の中で特に重要だと思う3つの力について順位づけをし、閉会しました。



【アンケート結果 8名】 ※一部抜粋

問 講演を受けて興部高校でもやっても良いと思うもの（複数回答）

- ①公営塾 6名 ②地域課題探究学習 4名 ③教育寮 4名
- ④国際交流部、起業部などの部活動 3名 ⑤AO、推薦に重点をおいた進学指導 0名
- ⑥その他 1名 （地域と教育現場と行政の連携を深めるため、3者の慣習やしきたりにとらわれないような専属のコーディネーターの設置）

問 興部高校魅力化に向けたアイデアについて

- ・興部高校の名前は、報道で認知はある。近隣だけでなく、広く通える手段を考えるべきである。
- ・進路についてPRの発信を高める。
- ・高校の空いている教室を教育委員会、民間企業に開放し、地域コーディネーター、観光協会などを校内に設置する。
- ・現在、実施している地域とのつながりをさらに深める。
- ・募集定員の40名が受検するような突出した特徴のあることを打ち出す。
- ・高校で必要なカリキュラムを学ぶ以外にも、空いている教室を利用し、専門的知識と資格が学べるようにする。

【委員の中からの主なご意見（順不同）】

- ・学校と地域と行政と間に距離がある。もっと連携を深めていくべきである。
- ・専属のコーディネーターがいるとよい。役場や外部の人ではなく地域の方に担ってもらう方がよい。
- ・公営塾を学校内に置くのは良い考えである。
- ・地域の人たちも一緒に高校魅力化を進めていく方がよい。
- ・商品開発をするのにあたり、だし昆布を食べ物にするという発想がなかった。地域の大人の概念にない高校生や他地域の人の視点を大事にして欲しい。
- ・中学生に対し、高校の魅力を発信して欲しい。

【11の力の順位】（委員8名が3項目選択）

- 1位 発見力 2位 学ぶ力 3位 行動力
- 4位 探究力、思考力、判断力、寛容力、自己指導力、コミュニケーション力
- 5位 グローカル力 表現力